

# マレーシア最大級の旅行博で訪日旅行を PR ～「MATTA Fair 2016」～

シンガポール事務所

自治体国際化協会シンガポール事務所は、マレーシア旅行業協会（Malaysian Association of Tour & Travel Agents）が主催する「MATTA Fair 2016」に参加し、日本政府観光局（以下 JNTO）と連携してビジット・ジャパンブース（VJブース）において、訪日観光 PR を実施しました。

例年春と秋に開催される「MATTA Fair 2016」はマレーシア最大級の旅行博で、日本の観光情報をマレーシアの一般消費者にアピールする絶好の機会です。当事務所職員が現場で見たマレーシア訪日旅行市場の最新状況をレポートいたします。

## 1 30万人の大台突破

2013年7月より実施されたマレーシアの訪日旅行客に対する短期滞在ビザの免除などによる追い風を受け、2015年のマレーシアからの訪日旅行客数は過去最高の305,500人（前年比22.4%増）を記録しました。

前年比増加率に関しては、原油価格の下落やリンギ安などマレーシア経済減速の影響が若干あるものの、初めて30万人の大台を達成するなど、個人消費レベルでは富裕層の増加による旺盛な旅行商品購買意欲が窺われます。



活気溢れるジャパンブース

マレーシアからの訪日旅客数の推移（出典：JNTOウェブサイト）

年次	2012年	2013年	2014年	2015年
訪日旅客数	130,183人	176,521人	249,500人	305,500人
前年比増加率	+59.7%	+35.5%	+41.3%	+22.4%

## 2 マレーシア訪日旅行客の最新情報

会場ではこれまで訪日旅行客の中心であった中華系マレーシア人に加えて、ムスリムであるマレー系マレーシア人の来場者が目立ち、必然的にハラルフードを食べることが出来るレストランの問い合わせなどがありました。



ひっきりなしに訪れる消費者に向けてPRする職員

関心の高い地域としてはゴールデンルートや九州の他、昨年10月にエアアジアXがクアラルンプールと札幌の直行便を就航させた効果もあり、北海道に関する問い合わせが多くありました。北海道でラベンダーを巡るドライブ旅行や北九州の藤の花のトンネルに関する質問も多く聞かれ、マレーシア人にとって「花」への関心が強いことが特徴的でした。

また、FIT（個人旅行者）も増加しており、東京メトロのフリーパスや東京都内で宿泊施設

の安い地域などへの質問も多く、個人でOTA（オンライン・トラベル・エージェント）を利用して航空券やホテルを手配し、訪日旅行を自己流にアレンジする傾向は引き続き強まっているという印象を受けました。

### 3 ハラル・ハブを目指すマレーシア

マレーシアはハラル（イスラム法に適合していること）産業の国際的な中心（ハラル・ハブ）となることを国策としており、各種のハラル産業振興策を採っています。厳格なマレーシアのハラル認証は国際的にも認知度・信用度が高いことから、その正しい知識を得ることが、ムスリム旅行者誘引への近道となります。

当事務所では、引き続きマレーシアの訪日旅行市場の最新情報を収集するとともに、ハラル産業開発公社などマレーシアの関係機関とも連携しながら正確なハラル情報を発信していきます。

### 4 MATTA Fair 2016 について

概要	マレーシア旅行業協会（Malaysian Association of Tour & Travel Agents）が主催するマレーシア最大規模の国際旅行博覧会
開催期間	2016年3月11日（金）～3月13日（日）
開催場所	Putra World Trade Centre (PWTC)
対象	一般消費者
来場者数	11万3,000人（前年度比27%増）
ジャパン・パピリオン出展団体数	19団体

（佐々木所長補佐 札幌市派遣）